

要請番号 (JL50624A09)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
エチオピア	D233 建設機械		個別	新規	2年	・ 2024/3 ・ 2025/1 ・ 2025/2



EWTIホームページ

【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

水・灌漑・エネルギー省

2) 配属機関名 (日本語)

水技術機構(EWTI)

3) 任地 (アディスアベバ) JICA事務所の所在地 (アディスアベバ)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (徒歩 で 約 0.0 時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

配属先は、水・灌漑・エネルギー省の水技術者育成機関として、1998年にアディスアベバ訓練センターとして設立された。その後、2005年にエチオピアウォーターテクノロジーセンターに改名、2013年に国立公益機関EWTI(Ethiopian Water Technology Institute)へと昇格し人材育成の中核機関となった。4部局で組織されており、独自の講師陣に加え、公的機関や大学等の研究機関、民間から適宜外部講師を受け入れ、水セクターの行政職員、公社、民間企業、NGOや職業訓練校などの在職者に研修を提供している。年間予算は260万ドル(日本円:約2億9千万円)。現在JICAの技術協力プロジェクト「EWTI研修運営管理能力強化プロジェクト」が実施中である。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

エチオピアはミレニアム開発計画(MDGs)の安全な水へのアクセス率の目標値である57%を達成したとされているが、現状では世界平均の91%に及ばず、依然世界で最も安全な水へのアクセス率の低い国のひとつである。このような状況を改善するために既存施設の維持管理や補修を担う技術者の育成が急務となっている。配属先には各国からの支援によりドリルやコンプレッサーなどの機械は一通り揃っているが、スタッフの知識・経験不足から適切なメンテナンスが行われておらず、十分に活用できていないことが課題となっている。日本の知見・経験を共有し、研修担当スタッフ自身の維持管理能力や技術知識の向上を支援するため、隊員の派遣が要請された。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

- 配属先同僚と協力して、以下の活動に取り組む。
- 1 ドリルやコンプレッサーなどの機械メンテナンスに関するサポート
 - 2 研修施設の運用・保守・点検に関するサポート
 - 3 職員的能力強化を通じた研修の質の向上

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

発電機(AirmanSDG35S等)、コンプレッサー(AirmanPDS-3905等)、井戸用掘削リグ(YBMYTD-65BE、生産終了モデル)、溶接機(SHINDAIWA DGW400DM等)、クレーン(ユニック URV503等)、事務用品、PC等

4) 配属先同僚及び活動対象者

配属先同僚

訓練教育局長:30代/男性/修士

エンジニア :2名/30-40代/大卒/経験6-15年

活動対象者

研修担当スタッフ

5) 活動使用言語

英語

6) 生活使用言語

その他

7) 選考指定言語

英語(レベル:C)

【資格条件等】

[免許]：（ ）

[学歴]：（ ） 備考：

[性別]：（ ） 備考：

[経験]：（実務経験）3年以上 備考：経験に基づく助言が必要

[参考情報]：

- ・建設機械整備技能士2級以上必ず

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：（温暖冬季少雨気候） 気温：（9～27℃位） [電気]：（安定）

[通信]：（インターネット可 電話可） [水道]：（不安定）

【特記事項】

同配属先からは他職種(電気・電子機器・設備)の募集も出ている。生活使用言語はアムハラ語となる。アムハラ語は現地到着後、現地訓練にて学習。水道は安定しており、電気は毎日1時間程度停電。

[EWTIのホームページ](#)